

『設計者のための ヒートポンプ空調・給湯システムの実務知識』

平成 22 年 5 月 25 日発行 第 1 版第 1 刷 正誤表

平成 22 年 7 月 1 日

頁・行数	訂正箇所	誤	正												
62 頁 左段 8 行目～	■概要および設計趣旨	<p>本建物は、グローバル企業であるオーナー会社の本社機能を果たすと同時に、環境配慮企業・環境トップランナーに相応しい建物として、建設計画時から運用にいたるまで環境に最大限の配慮がなされた。</p> <p>本建物の空調システムには、災害時の本社機能維持を保証しつつ、“温室効果ガス排出量を 2010 年度には、2000 年度比で絶対量 7% 以上削減する”という環境中期目標に則り、温室効果ガスを最小にするシステムを構築することが命題として与えられた。</p>	<p>本建物は、グローバル企業であるオーナー会社グループの本社ビルとして建設されたビルである。グループ本社として、災害発生時の本社機能維持を保証するとともに、環境配慮企業・環境トップランナーにふさわしい建物として、建設計画時から運用にいたるまで環境に最大限の配慮がなされている。</p> <p>本建物の計画にあたっては、“一般オフィスビル比 40%以上の CO<sub>2</sub> 排出削減”という目標のもと、温室効果ガス排出量を最小にするシステムを構築することが命題として与えられた。</p>												
62 頁 左段 24 行目	■建築概要	施主・設計：ソニー生命保険株式会社	施主：ソニー生命保険株式会社												
62 頁 右段 23 行目	■空調設備概要 (1)熱源機器選定	990Rt×3 台	3,481kW×3 台												
62 頁 右段 28 行目	同上	冷房490Rt	冷房1,723kW												
63 頁	表① (2 か所)	TR-3 (熱回収インバーターボ) 1725kW	TR-3 (熱回収インバーターボ) 1723kW												
63 頁	表② (2 か所)	B-1 1453kW	B-1 (温水ヒータ) 1453kW												
64 頁 左段 14 行目, 16 行目	蓄熱槽容量	<table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>冷水槽</td> <td>4,613m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>冷温水槽</td> <td>2,154m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,470m<sup>3</sup></td> </tr> </table>	冷水槽	4,613m <sup>3</sup>	冷温水槽	2,154m <sup>3</sup>	計	7,470m <sup>3</sup>	<table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>冷水槽</td> <td>4,316m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>冷温水槽</td> <td>2,154m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,470m<sup>3</sup></td> </tr> </table>	冷水槽	4,316m <sup>3</sup>	冷温水槽	2,154m <sup>3</sup>	計	6,470m <sup>3</sup>
冷水槽	4,613m <sup>3</sup>														
冷温水槽	2,154m <sup>3</sup>														
計	7,470m <sup>3</sup>														
冷水槽	4,316m <sup>3</sup>														
冷温水槽	2,154m <sup>3</sup>														
計	6,470m <sup>3</sup>														
65 頁 右段 4 行目	(4)大容量水蓄熱と NAS 電池	(7,470m <sup>3</sup> )	(6,470m <sup>3</sup> )												

頁・行数	訂正箇所	誤	正
65 頁 右段 21 行目～	(5) 熱源システムの性能評価	“ <u>温室効果ガス排出量を 2010 年度に、2000 年度比で絶対量 7%以上削減する</u> ” という環境目標を目指し、結果として削減目標を上回る建物年間 CO <sub>2</sub> 排出量 12,500t-CO <sub>2</sub> /年 を実現した。	“ <u>一般オフィスビル比 40% 以上の CO<sub>2</sub> 排出削減</u> ” という目標を目指し、結果として削減目標を上回る建物年間 CO <sub>2</sub> 排出量 12,500t-CO <sub>2</sub> /年 ( <u>一般オフィスビル比 48%削減</u> ) を実現した。
67 頁	図① (2 か所)	図中： 430.7m <sup>3</sup> /h (4,100L/min)	図中： 430.7m <sup>3</sup> /h (7,178L/min)
68 頁 左段 2 行目	■システム概要	…105,408MJの…	…105,408MJの…
69 頁 左段 21 行目	■システム COP の向上 (1) 熱交換器の中止	…専用のポンプにても熱交換器を通し、…	…専用のポンプにて熱交換器を通し、…
71 頁	図① (冷房と暖房の凡例)	—	冷房と暖房を入れ替える。
72 頁	表① (R-1 “改修時” の加熱能力)	765Rt (38℃→45℃)	765kW (38℃→45℃)
72 頁	表② (フレキシビリティの “新築時” )	・オープン/クローズ作用	・オープン/クローズ併用
74 頁	図④ 改修前後の蓄熱槽システムと温度プロフィール (図中：左図蓄熱槽内の数値)	10℃ 冷水槽 10℃	5℃ 冷水槽 10℃
75 頁 右段 11 行目, 12 行目	■空調設備概要 (1) 熱源機器選定	・時間最大熱量 冷熱：… (8,912MJ/h) 温熱：… (5,930MJ/h)	・時間最大熱量 冷熱：… (8,921MJ/h) 温熱：… (5,936MJ/h)
75 頁	図①のタイトル	夏期機運転パターン	夏期運転パターン
77 頁	図③ (図中：FCU 右)	“HR”	“CHR”
77 頁	図③ (図中：空気熱源ヒートポンプ チラー328kW×4 台の下) (3 か所)	“CH”	“CHR”
79 頁	図⑦のタイトル括弧内	(2008 年度実上位 5 日間)	(2008 年度実績上位 5 日間)
81 頁	図② (図中：右図 “暖房” 左)	“漏水”	“温水”
125 頁	図 3.7 の上の写真の説明	—	「芝浦 4 丁目地区熱供給センター第 2 プラントの採用例」